



中北小学校 学校だより

そ っ た く き

啐啄の機 NO. 7

令和2年9月29日(火)

上天草市立中北小学校

文責：横山

最後まであきらめずに協力し、みんなでがんばる運動会！

10月4日(日)に運動会を予定しています。本年度は新型コロナウイルス感染症対策として、午前中開催となります。しかしながら、運動会は子ども達にとって貴重な学びの場、成長の場です。様々な行事が中止となっている中、運動会はぜひ子ども達に経験させたい、そして、感動を味わわせたいとの思いから、子どもが出場するプログラムはカットせずに全て実施することとしました。とはいえ、感染症対策のため「声を出す」ことや「密集する」ことは極力避ける内容となっています。今年は例年とは異なり、「大歓声の中のにぎやかな」運動会ではなく、静かな中にも「『必死に』『ひたむきに』『夢中になる』」運動会となります。

先日子ども達は、運動会のスローガンについて代表委員会を開き、各学年からの思いや願いを集約して以下のように決めました。

「最後まであきらめずに協力し みんなでがんばる運動会」

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校や様々な行事の中止という厳しい状況下にあります。しかし、子ども達はこのような厳しい状況だからこそ、大切なことに気付くことができたのではないのでしょうか。このスローガンにある「最後まであきらめず」という言葉には、今の状況に負けずに伸びていこうという子ども達の決意が感じられます。「みんなで」「協力し」という言葉からは、人と距離をとることを求められているこの状況下だからこそ、人と人がつながることの大切さに改めて気づき、絆を深めていきたいという熱い思いが込められています。そして、最後の「がんばる」という言葉には、どんな困難でも乗り越えていこうというたくましさを感じられます。

このように、このスローガンには、子ども達の切実な思いが込められています。そして、この目標に向け、子ども達は朝から放課後まで一生懸命練習に取り組んでいます。

職員も一丸となって、新型コロナウイルス感染症や熱中症対策に配慮しながら、子ども達一人一人に達成感や充実感を味わわせたい。保護者のみなさんに子ども達の成長した姿を披露したいという思いで、精一杯指導に取り組んでいます。

保護者の皆様には、例年とは異なり、ご不便な状況の中での運動会の開催となり大変申し訳なく思います。その分、子ども達の「必死さ」「ひたむきさ」「夢中に取り組む姿」をしっかりと心に焼き付けていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



運動会に向けてのお願い

今年の運動会は新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策、授業時数の確保など様々な課題の中での実施となります。これらに対応するため、既にプリント等でお知らせしておりますが、以下の様な対応をとらせていただきます。保護者の皆様、地域の皆様には、例年通りの開催とならず、何かとご不便をおかけすることとなりますが、子どもファーストの考えをご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 期日 令和2年10月4日（日） 雨天順延
- 時間 9：00入場開始 12：00閉会式終了予定（昼食なし）
- 参加者 保護者及び児童の家族（市、教育委員会を含め、ご来賓の案内は行いません。）
- 種目 本校児童が行う種目のみ実施（PTA 競技などは実施いたしません）
- 観覧について
 - ・ 「密集、密接」を避けるため、テント内ではソーシャルディスタンスを確保し、間隔を開けてお座りください。
 - ・ テントは、お年寄りや小さい子どもさんをお連れの方が優先して使用できますようにご配慮願います。
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、テントとテントの間隔を広めにとっておりますので、その間のスペースからも応援は可能です。日傘等を使用される際は、周囲の様子や状況に注意され、ご観覧ください。
- その他
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点についてご協力願います。
 - ・ マスクの着用をお願いします。
 - ・ 応援は「声援」をお控えいただき、「拍手」にてお願いいたします。
 - ・ 体調が優れない場合や発熱がある場合はご来校をご遠慮ください。

認知症サポーター講座

3・4年生は総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに追究をおこなっています。そこで、9月17日（木）に、上天草市社会福祉協議会の田嶋多津枝さん、藤川桂奈子さん、東矢佳子さん、そして地域学校協働活動推進委員の西川みち恵さんに来校していただき、総合的な学習の一環として認知症サポーター講座を行いました。

講座では、まず、認知症について絵や写真を使って説明がありました。その後、寸劇を通して「実際に認知症のお年寄りに出会ったらどうするか」についてグループで考え、話し合ったことを発表し合いました。最後に認知症サポーター講座の受講の証としてオレンジリングと缶バッジをいただきました。

今回の講座を通して子ども達は、認知症について正しい理解と適切な対応の仕方を学びました。また、認知症のみならず、「相手の立場になって考える」ことの大切さについても実感してくれたようです。

